

次期 香川県水産業基本計画（R8-R12）素案について

資料 1

【基本目標】 豊かな海を創造し、香川の水産業を未来へつなぐ

本県の水産業を取り巻く環境の変化

- ① 気候変動等による海域環境の変化（海水温の上昇、海域の貧栄養化等）
- ② 国際情勢の不安定化と物価の高騰
- ③ 人口減少に伴う人手不足
- ④ 外国人観光客の増加
- ⑤ 社会全体でのデジタル化の進展
- ⑥ 水産政策の改革（資源管理の強化、海業の推進等）

本県の水産業の現状

- ① 漁業者の減少と高齢化
- ② 漁業生産量の減少（特にカレイ・タコ類などの「底もの」が顕著に減少）
- ③ 水産物消費の減少（魚離れ）
- ④ 生産資材（燃油、飼料等）の価格高騰

基本方針1 豊かな漁場の創造

1 さかなの育つ環境づくり

- ① 漁場環境の保全・再生・創造
- ② 漁場環境の調査・監視
- ③ 適切な栄養塩類の管理
- ④ 有害生物等による漁業被害対策

指 標	現状	→	目標
藻場造成面積（累計）	4.9ha	→	8ha (R2～6) (R8～12)
漁業者等による漁場保全活動の件数	13件	→	23件 (R6) (R12)

2 資源を積極的に増やす取組み

- ① ニーズを踏まえた種苗の供給
- ② 効果的な種苗放流の促進

指 標	現状	→	目標
種苗生産の年次目標の達成率	80%	→	100% (R2～6平均) (毎年度)
魚介類の増殖技術の開発件数（累計）	3件	→	新たに3件 (R2～6) (R8～12)

3 資源の持続的利用

- ① 科学的知見に基づく資源管理の推進
- ② 円滑な水面利用の推進

指 標	現状	→	目標
主要6漁協のイイダコ漁獲量	1,858kg	→	5,662kg (R6) (R12)
操業安全講習会の開催（累計）	4回	→	5回 (R2～6) (R8～12)

基本方針2 持続可能な漁業経営と所得向上の実現

1 養殖業の生産振興

- ① 魚類養殖業の振興
- ② 藻類養殖業の振興
- ③ 貝類養殖業の振興

指 標	現状	→	目標
オリーブ水産物の生産尾数（累計）	112万尾	→	145万尾 (R2～6) (R8～12)
クロノリ1柵当たりの生産枚数	3,645枚/柵	→	4,530枚/柵 (R2～6平均) (R12)

2 収益性向上と経営安定対策

- ① 水産物の付加価値向上
- ② イノベーションの創出
- ③ 収入安定・コスト対策

指 標	現状	→	目標
隠れた地魚*の水揚げ金額 ※クロダイ、エイ、アイゴ	18,486千円	→	24,000千円 (R6) (R12)
スマート水産技術の導入経営体数（累計）	8経営体	→	新たに10経営体 (R6) (R8～12)

3 販売促進と消費拡大

- ① 販売促進
- ② 売れる仕組みづくり
- ③ 地産地消の推進
- ④ 安全・安心の確保

指 標	現状	→	目標
1世帯当たり魚介類購入金額	67,990千円	→	74,789千円 (R6) (R12)
県産水産物の販売促進キャンペーンにおける応募件数	9,884件	→	14,826件 (R4～6平均) (R12)

基本方針3 漁業を支える漁村地域の活性化

1 漁業の担い手確保と組織強化

- ① 担い手の確保・育成
- ② 漁協の組織強化

指 標	現状	→	目標
新規漁業就業者数（累計）	137人	→	200人 (R2～6) (R8～12)
漁協への経営改善に関する指導・助言回数（累計）	69回	→	200回 (R2～6) (R8～12)

2 安全・安心な漁村づくり

- ① 漁港・漁業関連施設等の整備
- ② 地震・津波対策

指 標	現状	→	目標
漁港海岸保全施設の整備延長	1,352m	→	8,336m (R6) (R12)
防災講習会の開催（累計）	3回	→	5回 (R2～6) (R8～12)

3 漁村のにぎわい創出

- ① 海業の推進
- ② 多面的機能の維持・発揮

指 標	現状	→	目標
漁業者等による交流イベントの実施回数（累計）	83回	→	450回 (R6) (R8～12)
新たな「海業」の取組み件数（累計）	0件	→	5件 (R6) (R8～12)